

補助対象経費の区分

無料公衆無線LAN環境の整備(車両、機体への設置は除く。)に要する経費。

基本的な考え方

【対象経費】

・当事業の対象となる無料公衆無線LAN環境の整備に要する経費とは、「**機器購入費(無料公衆無線LAN機器の購入に係る費用)及び機器設置工事費用(無料公衆無線LAN機器の設置工事に係る費用、ソフトウェア購入費(セキュリティー対策含む。))**を対象とする。ただし、通信費等の当該無料公衆無線LAN環境の維持に関する経費は補助対象としない。当該申請については、訪日外国人旅行者の移動に係る利便性の向上の促進等に資する施設に付することとする。

【共通シンボルマーク利用】

・当該事業による補助金を活用し、無料公衆無線LAN環境の整備を図る際は、**共通シンボルマーク Japan.Free Wi-Fi(以下「シンボルマーク」という)の申請も併せて行い、シンボルマークの掲出を行うこととする。**

(参照URL) <https://japanfreewifi.jnto.go.jp/wifi/agent/login.php>

【認証方式】

・**利用者の利便性及び不正利用防止の観点から、総務省が求める認証方式に準じて、①による認証方式、②及び③の認証方式併用(※1)を導入することとする。(※2)**

- ①SMS(ショートメッセージ)・電話番号を利用した認証方式
- ②SMSアカウントを利用した認証方式
- ③利用していることの確認を含めたメール認証方式(※3)

(※1)利用者が②又は③の認証方式を選択し、どちらか一方の認証で利用可能となる方式。

(※2)上記認証方式を適用しなくてもよいケース(災害時の無料公衆無線LANの開放時、利用者の容姿又は氏名の確認が可能な場所での使用時、既存の無料公衆無線LANへの追加整備時(平成28年度当初予算限り))。

(※3)訪日外国人旅行者受入環境整備の目的でWi-Fiを設置する場合は、手続きにかかる最初の数分間はネット接続可能、又はメール受信のみネット接続可能とするなど必要。

○共通シンボルマークデザイン



＜共通シンボルマークの掲出基準＞

- ①利用者の費用
 - 無料であること(利用手続きの費用も含む)。なお、接続時は無料で、一定期間を過ぎると有料の契約を促すものについては対象とする。
- ②利用手続き
 - 訪日外国人旅行者が容易に利用できること。なお、初期画面や同意画面がある場合は、多言語による案内情報が含まれること。

設置事例（参考）

※回線終端装置までの工事費用
及び通信費は対象外のため、含まない。

必要工事・経費(参考)

①鉄道駅(構内、構外)、空港等

駅構内設置イメージ



駅構外設置イメージ



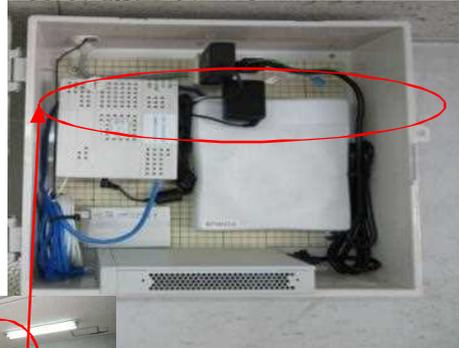
空港内設置イメージ



- ・通信速度：2 M以上
- ・通信規格：IEEE802.11a/b/g/n/ac
- ・アクセスポイント数 (AP数)
：一駅 3 AP程度
- ・必要工事：電源工事、配線工事、
防火・耐火施工、AP設置工事
クラウド等初期整備
- ・想定経費：60～180万円/AP
クラウド等初期整備100万円

②フェリーターミナル

フェリーターミナル設置イメージ



- ・通信速度：2 M以上
- ・通信規格：IEEE802.11a/b/g/n/ac
- ・アクセスポイント数 (AP数)
：ワンフロア 1～3 AP程度
- ・必要工事：電源工事、掘削工事、
配管工事、配線工事、AP設置工事
- ・想定経費：35～90万円/AP
クラウド等初期整備100万円

設置事例（参考）

※回線終端装置までの工事費用
及び通信費は対象外のため、含まない。

必要工事・経費(参考)

③バス停、バスターミナル

バス停設置イメージ



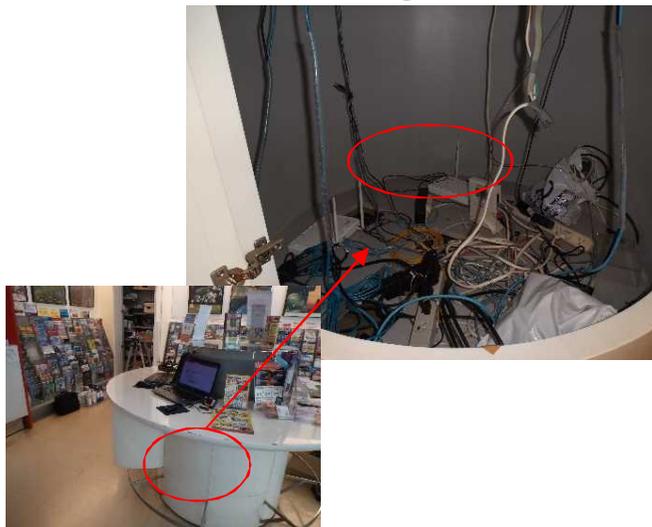
バスターミナル設置イメージ



- ・通信速度：2 M以上
- ・通信規格：IEEE802.11a/b/g/n/ac
- ・アクセスポイント数 (AP数)
：1～2 AP程度
- ・必要工事：電源工事、掘削工事、
配管工事、配線工事、
AP設置工事、クラウド等初期整備
- ・想定経費：40～100万円/AP
クラウド等初期整備100万円

④観光案内所

観光案内所設置イメージ①



観光案内所設置イメージ②



- ・通信速度：2 M以上
- ・通信規格：IEEE802.11a/b/g/n/ac
- ・アクセスポイント数 (AP数)
：1 AP程度
- ・必要工事：電源工事、掘削工事、
配管工事、配線工事、
AP設置工事、クラウド等初期整備
- ・想定経費：10～20万円/AP
クラウド等初期整備100万円